

「うちどく」通信～2025.8～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



【8／26 提出分】

提出数／人数（欠席）

提出数（欠席）／人数

4年 16（1）／17 ☆GOOD☆

1年 11／11 ☆GOOD☆

5年 12／12 ☆GOOD☆

2年 17／17 ☆GOOD☆

6年 18（1）／19 ☆GOOD☆

3年 14／14 ☆GOOD☆

全校 89（2）／91



1年 M・S『あいさつだんちょう』Eよ 長崎出版 読んだ人：お母さん 聞いた人：S

S：サムソンのへんじがおもしろかったです。

お母さん：転校してきた男の子がすごく人気者になり、それに嫉妬しちゃう子ども達のかわいらしいお話でした。最後にあいさつ団を作りみんな仲良くできたところがよかったなあと思いました。

1年 Y・A『世界の猫図鑑』48セ 新星出版社 読んだ人：A 聞いた人：お母さん

A：ねこのかおやかたちは、ぜんぶおなじじゃないことがわかりました。

お母さん：色々な猫が載っていて、猫について知ることができました。

2年 M・K『やまのすもうだ！はっけよい！』Eし 鈴木出版 読んだ人：お母さん 聞いた人：K

K：ふじさんがつよかったからたのしかったです。

お母さん：富士山に勝つ事は難しいですが、桜島はよけたりして勝とうと頑張っていたのすごかったです。一真も何事もあきらめずに頑張っていました。

2年 M・R『おおきなかぶ』Eよ 福音館書店 読んだ人：お母さん 聞いた人：R

R：ひさしぶりによみたくなってよんだら、みんなでたすけあっていたから、ぼくもそうなりたと思いました。

お母さん：自分から気になった時が心に響くタイミングだったのかなと思い、この感想を聞いて嬉しく思いました。

3年 T・Y『ちいさくなったパパ』933ス 小峰書店 読んだ人：お母さん 聞いた人：Y

Y：ちいさいパパが車をうんでんしたところがおもしろかったです。

お母さん：この本のパパが子どもに戻って息子と全力で遊びたいというお月様への願いは、昔遊んでいたすべり台やブランコで遊んでみたいと思ったことを思い出しました。自分の子どもが生まれて一緒に遊べて楽しかったのですが今は体力がもちません。このパパがママのベッドに飛び込んで逃げた気持ちに同感です。

3年 Y・Y『へいわってすてきだね』Eあ ブロンズ新社 読んだ人：Y 聞いた人：お母さん

Y：戦争の時代に生まれた人達のことを考えて、平和な暮らしができるように自分にも何かできることがあればしたいです。

お母さん：戦争と平和について改めて考えるきっかけになりました。

4年 H・M『ひめゆり』Eふ 講談社 読んだ人：M 聞いた人：お母さん

M：戦争はこわいものだと思います。本でわかったのが中学生から高校生のみんなは楽しく過ごしていたのに急に戦争になってかわいそうでした。だから戦争は二度としてほしくないと思いました。

お母さん：我が子が楽しい学校生活を送っている中、本人の意思も尊重されず、強制的に戦争に参加させられ命を落としていくなんで想像したくありません。これからも平和学習は一生していかなければならないと思います。

4年 B・K『ふしぎのもり』おうちの本 読んだ人：お母さん 聞いた人：K

K：不思議な森があって元気のない色々な登場人物を元気付けてあげていました。

ある日、森が病気になって森が助けた登場人物たちがやさしく水をあげたことで森の病気が治ってよかったです。

お母さん：サーカス団きのこの遊園地の絵が可愛かったです。心がほっこりする本でした。

5年 H・Y『おたすけこびととハムスター』Eな 徳間書店

読んだ人：Y 聞いた人：お母さん

Y：こびとたちがハムスターのために回し車を作ってくれているところがやさしくていいなあと思いました。

お母さん：物語自体おもしろかったけど、各ページのどこかに必ずハムスターが描かれていて、自由気ままに行動しているのが、見ていて可愛かったです。

5年 K・N『きたかぜとたいよう』Eい 岩崎書店

読んだ人：N 聞いた人：お母さん

N：力まかせでは勝てないことも頭を使えば勝つことができることがこの話でわかりました。

お母さん：スポーツでも勉強でも、少しやり方見方を変えることで違った世界が見え視野ももっと広がります。いろんな視点から見いきましょう。

6年 N・M『火垂るの墓』Eの 徳間書店 読んだ人：M 聞いた人：お母さん

M：戦争のせいで清太と節子ごはんを食べられず、弱っていくところがとても悲しかったです。「火垂るの墓」を読んで今がとても幸せだと改めて感じました。

お母さん：このお話は何度読んでも悲しくなりますね。正直見たくないから目をそむけていたところがありますが、命の大切さを知るために子どもたちにも戦争と向き合ってもらいたい作品です。

6年 N・S『りんごかもしれない』Eよ ブロンズ新社

読んだ人：S 聞いた人：お母さん

S：りんごが何かに変わったり、すっぱかったりする子どもの想像力がすごいです。

お母さん：一つのりんごからこれだけたくさんの「かもしれない」が生まれることに笑えました。でも・・・だ！と決めつけてしまうよりずっと素敵な考え方だなと楽しく読めました。